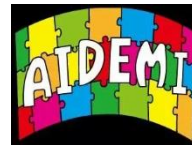


# 再募集



掲示用資料



高校生同士の交流を日中関係改善のきっかけにしたい

## 福島・中国高校生友好交流事業「あいでみ」

県北地域で高校生の社会課題解決プロジェクトを実施する一般社団法人Bridge for Fukushima(福島市、代表理事 伴場賢一)が主催となり、福島と中国の高校生の交流事業を行います。

### <プログラム概要>

- ・主催:(社)Bridge for Fukushima
- ・参加者: 福島県内の高校生
- ・活動場所:  
【福島での活動】(社)Bridge for Fukushima事務所(福島市五月町2-22)  
【上海渡航】復旦大学附属高校等(渡航予定日: 2014年12月21日(日)~24日(水))
- ・企画内容: 福島の高中生自らが主体となり、中国の高校生との交流を創り上げる半年間のプログラム。オンライン会議などを通じ中国側と交流内容を創り、12月に上海へ渡航、交流を行う。



### ●実施目的

福島の高中生が自ら企画・実施・事業評価を行う、福島県内高校生と上海市内高校生の友好交流事業です。福島と中国を高校生の草の根友好交流でつなぐことで日中関係の回復に寄与すると共に、日中両国に共通する社会課題をテーマとしたディスカッション等を通じ相互理解を深めることを目的としています。



### ●実施背景

平成25年3月、「高校生同士の交流を日中関係改善のきっかけにしたい」との思いから、福島県立福島高等学校の一年生(当時)がキャリア教育の一環として日中高校生友好企画「福島にあいでみ」を企画し、復旦大学附属高校、上海市大同高校の教員及び生徒を福島に招いて交流事業(被災地復興状況視察、スキー交流、英語でのワークショップ)を行ったのが当事業のきっかけです。平成25年12月には、福島県上海事務所の協力のもと、福島県内の高校生13名が上海を訪問し、日中共通の社会課題(「日中の社会的企業」「日中の環境問題」)について議論し、交流を行いました。今回の上海訪問でも、復旦大学附属高校等、中国トップレベルの高校生との交流や海外での共同生活を行い、日中両国の高校生の成長と、友好交流関係づくりを目指します。

昨年度の活動実績についてはこちら→ <http://bridgeforfukushima.org/tour/highpgm.html>

本企画に関する問い合わせは、下記までお願いします。

(社)Bridge for Fukushima 加藤裕介 (電話:024-503-9069 メール:[info@bridgeforfukushima.org](mailto:info@bridgeforfukushima.org))



# ■企画詳細

## ■渡航までのスケジュール

- ・9月12日(金曜)迄:参加希望生徒の募集
- ・9月18日(木曜) 参加生徒の決定連絡  
(参加希望多数の場合、「参加用選考様式」の内容に基づいて選考)
- ・9月21日(日曜) 参加生徒オリエンテーション(福島市で実施予定)
- ・9月下旬～12月上旬 交流内容作成
  - 中国側高校生とのオンラインミーティング等を通じた交流会議
  - 交流時ディスカッションの準備(月1回程度、福島市で実施予定)
- ・12月21日(日曜)～24日(水曜) 上海渡航
  - 第1日目 福島発 上海着  
高校生同士の交流(訪問予定先:復旦大学付属高校・大同高校)・夕食会
  - 第2日目 中国の企業訪問  
ワークショップ【日中共通の社会課題ディスカッション】
  - 第3日目 中国の高校授業体験  
中国の家庭体験
  - 第4日目 上海発 福島着
- ・2015年1月 活動報告会(福島市で実施予定)

## ■申し込み方法

- ・各高校に届いている「参加用選考様式」「参加承諾書」を担当の先生から受け取り、先生へ提出してください。

**再募集締切:2014年9月12日(金曜)朝 各校担当の先生へ提出**

## ■参加に際しての注意事項

### 1:参加の範囲

- ・上海渡航(12月21～24日)及び渡航前後の交流企画を高校生同士で創り上げる活動に参加できることが前提です。渡航に際しては、(株)JTBコーポレートセールス(予定)等旅行会社を通じた渡航準備を行います。

### 2:費用負担

#### ・上海渡航費として、30,000円を徴収します。

- ・福島市での活動に伴い、福島駅までの交通費を、居住地により一部補助を行います。  
浜通り:2,000円/1回 中通り:500円/1回 会津:1,500円/1回(毎回出席時に現金支給)

### 3:個人情報管理

- ・お預かりした氏名、住所、電話番号、e-mailアドレス等個人情報は、当企画の実施に関することのみで使用します。本人の許可なく第三者に公表することはありませんが、企画実施時には、氏名入りの名札等を着用予定です。

### 4:取材等について

- 企画実施に際し、プレスリリース、新聞等メディア、facebook等のSNSに活動内容や写真が掲載されることがあります。ご了承の上、参加お願いします。

本企画に関する問い合わせは、下記までお願いします。

(社)Bridge for Fukushima 加藤裕介 (電話:024-503-9069 メール:[info@bridgeforfukushima.org](mailto:info@bridgeforfukushima.org))